

令和7年度 中学生の「税についての作文」

緑 税 務 署 長 賞



税があるから安心して挑戦できる

横浜市立 谷本中学校 第三学年 池 琴帆

私は中学三年生で、今は受験勉強と引退が近いですが部活の両立に挑戦しています。勉強も部活も簡単なものではなく、ときには心が折れそうになるときもあります。しかし、それでも「挑戦してみたい」と思えるのは、私のまわりに安心できる環境が整っているからだと感じました。そして、その安心の背景には「税金」が存在しているのです。

まず私は毎日学校に通い、仲間と共に学んでいます。教科書を広げ、黒板に書かれる文字を追いかけて、疑問を先生に尋ねることが出来ます。その一つ一つの学びの場は、税により支えられているのです。教科書が無償で配布されること、冷暖房が整った教室で勉強できること、図書館で本を借りられること。これらはすべて税金があるから実現しています。もし教科書を自分で買わなければならなかったら、もし校舎が危険なままだったら安心して学ぶことはできなかったと思います。

また、私は剣道部に所属しています。仲間と支え合いながら大会に挑戦する経験は、私の大切な青春の一部です。中学二年生の稽古中に足首を痛めて病院に行ったことがありました。診察を受け、レントゲンを撮ってもらい、保険証を出す負担額は一部で済みました。私は「健康保険制度があるから、安心して病院に行けるのだ」と強く感じました。税によって医

療制度が守られているからこそ、私は再び立ち、挑戦を再開できました。さらに、私の暮らす地域には、安全を守る多くの仕組みがあります。道路は舗装され夜には街灯が光り、公園には子供たちの笑い声が響きます。消防車や救急車はいつでも出動できる体制が整っており、災害が起きたときには避難所が開設されます。もし治安が悪く災害への備えもなければ私たちは日常生活に不安を抱き、夢に向かって挑戦する余裕を持てなかったでしょう。

このように考えると、挑戦には必ず「安心できる環境」が必要でありその環境をつくっているのが税金なのです。勉強やスポーツそして将来の夢に挑戦することも、税があるから可能になる部分が多くあります。一見すると挑戦と税は関係ないように見えますが「税があるから安心が生まれ、安心があるから挑戦できる」というつながりが存在しているのです。

これから私は大人になり、働き、税を納める立場になります。そのとき、私は「税を納めること」を義務ではなく「未来の誰かの挑戦を支える行為」として受け止めたいです。

税は、目に見える形で私たちに届くものではありません。しかし、学校で学ぶとき、病院に行くとき、地域で安全に暮らしている今確かに私たちが支えています。そして税金は、正しく活用されることで初めて、私たちが支える力になると考えました。私はこれからも安心を力に変え、挑戦し続ける一人の人間として成長していきたいです。

